

真心と笑顔で走るあおぞら号！

あおぞら

みたかハンディキャブ交流誌 夏季号 Vol.142

2020～2021年度理事諸氏



協力：朗読ボランティア 《ういろうの会》

2020年度通常総会及び関連会議の審議方法について

2019年12月頃発生し徐々に感染拡散していったコロナウイルス感染症による、2020年4月からの三鷹市関連施設の使用中止宣言により、各種の会議が開催できなくなった。

そこでキャブでは持ち回り会議(回議)で、19年度活動報告等・20年度活動計画等を審議・議了する方法を執った。

以下その事項に関する状況・処理を記す。

1. 会議室の確保

4月当初から6月7日までの期間分庁舎会議室の使用が停止となり集合会議が出来なくなった

2. 審議方法

そのため回議方法で理事会・総会を乗り切ることとした

総務省に於いても今年度の会議体を、一般の構成者については委任状でとりまとめ少数の代表者での審議を認める通達が出された

そこで理事会については審議事項を各理事に書面にて提示し賛否の回答を得た

本会の総会は議事内容を書面にて会員に提示、各審議事項についての賛否を執る方法とした

3. 総務省による今年度の特例措置が示され回議方式等も可となった

4. 法務局に提出した議事録等は法務局の指導による書式にて提出・受理された

以上コロナ騒動混乱状況下での会議は上記方法にて乗り切った

事務局長 上 條 正 名

キャブのコロナ対策

4月20日より運行を休止してまいりましたがその間、会員すべての皆様に大変ご不便ご心配をおかけしたと申し訳なく思っております。5月26日の東京都の緊急事態宣言解除を受け5月29日より活動を再開しました。運行部として何をやるべきかをよく理解をし、活動を行ってまいります。しかし今後も油断ができない事から引き続き各種のコロナ対策に努めてまいります。

1. 運行前の検温と運行時マスクの着用
2. 車両内の運転席と乗車席の仕切りの設置(密閉ではありません)
3. 消毒スプレーでの車内除菌
4. 車両の適時換気



以上の対策を行い、安心、安全な運行を行ってまいります。

運行部副理事長 宮田 榮一

新人ボランティア紹介



佐藤有子さん：介護福祉士・社会福祉士です。訪問介護事業所の重度訪問介護ヘルパーや、派遣で障害・高齢者施設リハビリ病院などの介護職等として働いてきましたが、派遣先施設がさきごろ契約期間満了となり、目下求職中です。

そのほか、単発で視覚障害者・知的障害者のガイドヘルパーも時々やっています。

今回の失業を利用して(?)、久々に教習所に通い、なんとか中型四輪免許の限定解除をとれる見込みとなりました。

まだまだ未熟ですが、利用者さんが安心して利用できる運転を目指し、経験を積んでいきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



池田新太郎さん：本年4月から、運転ボランティアに参加させていただきました。定年から2年目を迎え、何か地域の社会活動に参加できないかと、色々調べていた時、市の広報で説明会の案内を拝見し、入会しました。

登山が好きで、車で登山口迄行き、道の駅等で車中泊をしながら、全国を巡っています。自分の空いた時間に、自由に活動に参加できるのが、大きな魅力です。

開始早々、コロナウイルスの為、活動中止になってしまいましたが、人生初(?)の、誰かに喜んでもらえる活動を、自分の喜びとして取り組みたいと思っております。

2020～2022年新理事長挨拶



この度、2020～2021年度新理事に選任され、理事互選により理事長を拝命することになりました加持です。今後の2年間よろしくお付き合いのほどお願い申し上げます。新型コロナウイルス禍が猛威を振っている前代未聞の大変な時期に理事長に就任してしまいました。みたかハンディキャブはボランティアさんも利用者さんも高齢者が多いことから特に感染には注意していただきたいと思います。キャブの車に乗ることはあっても新感染には乗らないように切にお願いする次第です。実はこの挨拶文は4月の総会場で皆様にお披露目するつもりで準備したのですが、総会どころかキャブの活動も休止するという空前絶後の事態になってしまい、少々書き直しを加えているところでもあります。

さて理事長は組織の代表であるとともに責任者であり顔であり、お飾りであると考えています。顔でありお飾りでありながら首から上が全て悪い、すなわち難聴に耳鳴り、近視・乱視・老眼の三種混合、花粉症はないものの年中副鼻腔炎、さらには頭が悪い上に口も悪いときいているとは思うものの、選ばれたからには義務と責任を果たすつもりでおります。一方で選んだ方々にも責任があると考えています。およそ70%以上の信任票を頂いていると聞いておりますので、安心して突っ走っていきける、皆さんもついてきていただけるものと信じております。このような極論者であり暴走しがちな人間ですが、優秀なブレイン（新理事および責任のある方々）及び理事の業務執行をしっかり監査してくださる監事の方々に囲まれましたのでしっかりと手綱を引き絞ってもらえるものと期待しております。

キャブの運営については、故 平元事務長、上條前事務長を中心とする方々のご尽力によりほぼ形が整ってきたと思っております。今後一層の運営整備に努め、また喫緊の課題であるボランティア不足解消に注力していく予定です。さらに三鷹市健康福祉部 障がい者支援課及び三鷹市社会福祉協議会さらには市議、都議、地元有力者の方々と連携し、利用者さんのご要望に応じていきたいと考えております。加えて直近の課題であります新型コロナウイルス感染対策をきちんと行ったうえでの安全、安心の運行を心がけていきたいと考えております。

私事ではありますが、小学校6年生の時に担任教師から有言不実行であることをきつく叱責され、現在に至るまでそれがトラウマになっています。口先だけの介入は極めて不愉快に感じます。選挙演説みたいですが有言実行を社是、いやキャブ是とし、みたかハンディキャブの益々の発展に努力していく所存です。とはいうもののゲーテの言葉に「人生において自然であること、自然にふるまうことほど難しいことはない」というのがあるそうです。もしかして難しいことをしようとしているのかなとも思いますが、よろしく願いいたします。また座右の銘は、論語の「朝に道を聞かば、夕べに死すとも可なり」で、朝目が覚めるのは奇跡と考え（今日が私の一番若い日）、可能な限り充実した一日を過ごしていきたいと日々思っております。最近読んだ本に笑いは免疫力を高めると書いてありました。最後に、ちょっとおちゃらけた本文に皆さんが「クスリ」とでも笑ってくれたなら、COVID-19に立ち向かう有効なお「クスリ」となることを願って結びとしたいと思います。

～巣ごもりの窓からの雲夏めきて～

～制服のしつけ取らずに更衣～

～夏風や誰かわからぬマスク顔～

～初夏の風世の前へ少しずつ～

～新緑の神社ひっそり参拝者～

---読み人知らず---

ボランティア不足解消対策！！

本誌でご紹介した通り本年4月に新人ボランティア2名が誕生しましたが、一方で今後次々と運行定年を迎えるボランティアがいる状況の中、抜本的な解決策が見当たらず困窮しています。とにかくあらゆる手段を使って新規入会運転ボランティアさんを増やそうと、各種広告媒体、高齢者求職機構への会員登録等の実施を積極的に行ってきましたが、効果が表れません。

事態は一刻の猶予もない状況です。利用会員の皆様もご家族、ご近所、地域のお知り合いにみたかハンディキャブの活動をご紹介いただき、一人でも多くの運転ボランティアが誕生するようご協力をお願いいたします。

交流部からのお知らせ

今年春の交流会は6月7(日)千葉県香取市佐原方面を企画しましたが、残念ながら今回のコロナ禍で中止となってしまいました。この寒い1月に実踏へ行き、誰も居ない“水郷佐原あやめパーク”で、6月にはハナショウブが紫色の絨毯に染めあげているお花畑を思い浮かべながら帰って来たのですが・・・。

予約をしていた各施設担当者さんへお断りの連絡をした際、残念そうに「また機会がありましたら」と言われました。機会があれば再挑戦したいですね。

秋の交流会は10月18日(日)を予定しています。世の中の状況を見ながら、次号(143号)でご案内いたします。

交流部一同

今後の予定行事

今年度も例年通り、春・秋の交流会や年3回行っている福祉有償運送運転者講習会の実施、みたかハンディキャブが毎年、希望される方々の送迎協力を行っていた秋の「敬老のつどい」、「福祉バザー」等の三鷹市主催行事への協力・参加などを行う予定でした。新型コロナウイルスの影響で開催できるか、予断を許さない状況が続いていました。

案の定、6月7日に予定していた春の交流会、6月27日/28日に予定していた今年度1回目の福祉有償運送運転者講習会は中止せざるを得なくなりました。

6月に入り三鷹市関連行事の年内中止が発表されました。キャブの活動予定もはっきり決められませんが、兎にも角にも新型コロナウイルスと上手く共存し、これまで通り、運行を含むハンディキャブの各種活動が行える状況が早くくることを願っています。

総務部副理事長 須山 正人

編集後記

とにかくコロナ、コロナに翻弄された新年度のスタートとなりました。本誌「あおぞら」も本来だったら春の交流会の掲載をするコロナのに、交流会どころか、4月の総会も例年とは異なった形での開催となりました。とにかく免疫力を高める努力を怠らず、こんな時期ですが、口とうに迷うことなく、ナミの生活くらいは維持できるようがんばりましょう。

ちょっと苦しい語呂合わせでした。



株式会社
サカイ・ヘルスケア

私たち毎日の生活を支え、人を明るくする
元気にする福祉用具を提案します。

- 福祉用具販売
- 住宅改修
- 福祉用具貸与

定休日
日曜・祝日
年末年始



<サカイ・ヘルスケア三鷹店>
三鷹市下連雀9-3-15
Tel 0422-42-6811 Fax 0422-41-2722

みたかハンディキャブ緊急連絡先

運行管理者／東垣 080-1102-7281

万一上記の連絡先で連絡が取れない場合のみ下記の連絡先へご連絡ください。

須山：080-2150-9696、宮田：090-4833-3541、加持：090-1105-7162



NPO法人 みたかハンディキャブ 交流紙
発行 NPO法人みたかハンディキャブ交流部会
〒181-0012 三鷹市上連雀8-3-10 三鷹市上連雀分庁舎
TEL 0422-41-0185 FAX 0422-41-0274
E-mail : mcab3@jcom.zaq.ne.jp
<https://www.mcab.jp/>
発行日： 2020年7月1日